

会議録

1 会議名 第11期北九州市男女共同参画審議会 第6回

2 開催日時 令和6年2月13日(火)14:00~15:30

3 開催場所 オンライン、市役所3階特別会議室A

4 出席した者の氏名

(1) 審議会委員

来所 大島まな(会長)、小石佐織、里村勉、沼田文子

オンライン 伊藤幸祐、高橋建二、玉井利生、土谷和子、廣重純理、森山はるか、
安河内恵子、湯浅壘道(副会長)、横山隆宏 以上13名

(2) 事務局 総務局女性の輝く社会推進室 竹光郁 他3名

5 会議の内容

(1) 第5次北九州市男女共同参画基本計画答申について

6 審議会委員からの意見

- ・企業において、安心して休業復職できる環境整備、女性活躍や働き方改革を進めることは重要であるが、雇用者のうち70%は中小企業で働いていることから、女性活躍推進に取り組む企業を支援するための補助金や融資制度等の優遇について検討していただきたい。
- ・令和3(2021)年6月育児・介護休業法改正で、「産後パパ育休」だけでなく、「育児休業の分割取得が可能」となっていることを答申書に追記していただきたい。
- ・「25歳から44歳の女性の就業率を成果指標に」とあるが、「就業率の向上」とすべきである。
- ・「女性が働き続けることができる環境づくり支援」の文言で「キャリアを向上させる」とあるが、常にキャリアアップを求められるようでプレッシャーがかかる。「キャリアの維持」等を付け加えた方が良い。
- ・デートDVのうち、学生の間で経済的DVが多くなっていると感じている。経済的DVに対する対応が必要である。
- ・「起業」という言葉より「スタートアップ」の方が、聞きなじみがある。
- ・学生がSNSで繋がった人と交際し、その交際がこじれて、経済的DVや、身体的、精神的なDVに発展する事案が時々あるので、SNSについて明記し、身近に起こりうるという危機感を醸成していただきたい。
- ・ジェンダー平等意識が浸透した社会の実現の具体的施策例でデートDVに関する理解の推進があるので、ここにもSNSの危険性について追加記載した方が良い。

- ・DVの危険性は、SNSだけでなく、出会い系アプリやオンラインゲーム等にもある。
- ・DVは、配偶者や恋人など親密な関係の人からだけでなく、元夫(妻)や元恋人からのDVもあるため、補記したほうが良い。
- ・戸畑区には、病児保育所がないため、子どもが病気になったとき、保護者が休むしかない状況である。子どもたちを預かる施設や環境を充実させることが重要であることを明記してもらいたい。
- ・ジェンダー平等が浸透した社会の実現の具体的な施策例に子どもに対する教育を明記しているが、指導する先生方の意識改革を含めて考える必要がある。
- ・キャリアは低下することはないので、「キャリア向上」という言葉にプレッシャーを感じるという意見に賛同する。
- ・「起業」を「スタートアップ」という新しい言葉に言い換えることについては、若い人には一般的であっても、高齢の方や聞きなれない方に配慮した対応が必要である。
- ・ジェンダー平等社会の実現を進めるのであれば、「LGBTQプラス」について、総論に入れた方が良い。